

フィジー

主要データ

国名〔英名〕	フィジー共和国〔Republic of Fiji〕
面積(km ²)	18,274
海岸線延長(km)	1,129
人口(人)	920,938
人口密度(人/km ²)	50.4
GDP(十億 US\$)	5.05
一人当り GDP(US\$)	5,487.88
主要鉱産物：鉱石	金、銀、ボーキサイト
主要鉱産物：地金	なし
鉱業管轄官庁	国土鉱物資源省鉱物資源局 (Ministry of Lands and Mineral Resources、Mineral Resources Department : MRD)
鉱業関連政府機関	なし
鉱業法	Mining Act、Mineral Policy
ロイヤルティ	ロイヤルティは FOB ベースで徴収。ボーキサイトと鉄は 3%、その他の鉱物は 5%。
外資法	Foreign Investment Act、Foreign Investment Regulation
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	Environment Management Act 2005
鉱業公社	なし
鉱業活動中の民間企業	Vatukoula Gold Mines、Xinfa Aurum Exploration Fiji
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	特になし
2017 年のトピックス	Tuvatu 金鉱山プロジェクトの建設工事が開始され 2020 年の操業開始を目指している。

1. 鉱業一般概況

鉱業の主要生産物は金、銀及びボーキサイトである。探鉱は金、銅、亜鉛、ボーキサイト及び磁鉄鉱砂を対象として実施されている。

Tuvatu 金鉱山プロジェクトは 2017 年に建設工事に着手し、2020 年の生産開始を目指している。一方、2018 年 3 月の報道によれば、Nawailevu ボーキサイト鉱山は操業を停止し、リハビリテーション（原状回復作業）を開始している。

2. 鉱業政策の主な動き

鉱物資源局が鉱業法のロイヤルティ及び地権者の権利に関するレビューを実施中。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

鉱種	2015年	2016年	2017年	対前年 増減比(%)	世界シェア (%)
金(t)	1.4	1.5	1.4	-6.0	0.04
銀(千t)	0.5	0.5	0.5	0.0	0.00

(出典) : World Metal Statistics Yearbook 2018

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出量

表 3-2. 主要金属輸出量

鉱種	2015年	2016年	2017年	対前年 増減比(%)	主な輸出相手国
金(t)	1.2	3.8	2.5	-34	豪州、シンガポール
鉛					
鉱石(t)	0.0	0.0	0.0	-	インド
地金(t)	0.0	0.0	0.0	-	インドネシア

(出典) : Global Trade Atlas

(5) 主要金属輸入量

表 3-3. 主要金属輸入量

鉱種	2015年	2016年	2017年	対前年 増減比(%)	主な輸入相手国
アルミニウム 地金(t)	0.98	0.0	0.048	-	中国、豪州

(出典) : Global Trade Atlas

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益: %)	鉱種	生産量	備考
Vatukoula Gold Operation	Vatukoula Gold Mines (100)	金	1,367kg	・生産量は2015年の実績。 ・長期的な金の生産目標として10万oz/年(約3,110kg/年)を掲げている。
Nawailevu, Lekutu, Dreketi	Xinfa Aurum Exploration (Fiji) (100)	ボーキサイト	800,000t	・生産能力。 ・Xinfa社は中国企業。 ・ボーキサイトは全量中国へ輸出されている。 ・なお2018年3月に地元メディアが報じるところによれば、Nawailevuボーキサイト鉱山は操業を停止しており、松を植栽する等のリハビリテーション(原状回復作業)が開始されている。

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱状況一覧

プロジェクト名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種	探査 ステージ	場所	概要/最近の動向
Cakaudrove	Geopacific Resources (100)	金、銅	初期探鉱	Vanua Levu 島東部	2012年、メインターゲットとなる2つの有望地域を確認。2016年、探鉱権を3年間延長。2017年、河川堆積物や岩石サンプリングを基に地質マッピング。
Liwa Creek	Thunderstruck Resources (100)	金	初期探鉱	Viti Levu 島南部	堆積物のサンプリング等により地質マッピング。
MBA Delta Iron Sands	Amex Resources (100)	鉄	建設中	Viti Levu 島北西部	砂鉄(titanomagnetite) 鉱床。 概測資源量：220mt、品位：Fe 10.9% 精鉱生産量目標値：750kt/年 2016年5月に港湾の建設を開始し、2018年に工事が完了予定。
Nabila	Geopacific Resources (100)	金	探鉱	Viti Levu 島西部	予測、概測資源量：355kt(Au 1g/t Cut-off)、品位：Au 2.18g/t。 2012年、地化学探査、トレンチ調査及び空中物理探査(ZTEM)で確認された導電体への試錐を実施。2017年、探鉱権を2年間延長。
Nakoro	Thunderstruck Resources (100)	亜鉛、銅	初期探鉱	Viti Levu 島南部	VMS 鉱床。
Namosi	Newcrest Mining (71、ホバレータ)、三菱マテリアル (27) 日鉄鉱業 (2)	銅、金、モリブデン	プレFS	Viti Levu 島南東部 Suva 西北西 34km	2013年、Waivaka Corridor の試錐を実施。2014年、ポーリング調査を実施。推定埋蔵量：950mt、品位：Au 0.12%、Cu 0.37%。 2017年に環境影響評価(EIA)を実施。
Raki Raki	Geopacific Resources (50、ホバレータ)、Peninsula Energy (50)	金	後期探鉱	Viti Levu 島北部	予測資源量：613kt、品位：Au 1.2g/t。 2012年、地上電磁探査、トレンチ調査を実施。同調査で Qalau 地区において 14.9m 間 Au 1.5g/t 等を確認。 2013年、Tataiya 及び Tramways 地区において土壌及び岩石地化学探査を実施。 2016年11月、探鉱権を3年間延長。
Rama Creek	Thunderstruck Resources (100)	金、銅	初期探鉱	Viti Levu 島南部	2018年にポーリング調査実施予定。ポーフリー型の金、銅鉱化を発見。
Sigatoka	Dome Gold Mines (100)	鉄	探鉱	Viti Levu 島南西部	Sigatoka 砂鉄鉱床： 予測資源量：5.9mt、品位：Fe 11% 概測資源量：25mt、品位：Fe 11.6% Kulukulu 砂鉄鉱床： 予測資源量：100.7mt 品位：Fe 17% 2015年プレFSを完了。環境認可取得。 2017年にポーリング調査を再開 2018年7月、DFSを実施するためオランダ IHC 社と合意(HOAに署名)。 採掘権の申請を行っており2018年中の取得を見込んでいる。
Sabeto-Vuda	Geopacific Resources (100)	銅、金	後期探鉱	Viti Levu 島北西部	2013年、ポーリング調査を完了。 斑岩鉱床の存在を確認。IP 探査を2016~2017年に実施。

					2017年6月、探鉱権を2年間延長。
Tuvatu	Lion One Metals (100)	金	建設中	Viti Levu 島北西部 Nadi 北東 16km	2014年6月、再評価した資源量を発表。予測資源量：1.51mt (Au 3.0g/t Cut-off)、品位：Au 9.7g/t。 概測資源量：1.1mt (Au 3.0g/t Cut-off)、品位：Au 8.46g/t。 2015年5月、採掘権を取得。 鉱山の設計が完了して2017年に建設工事を開始。2020年の生産開始を目指す。 2018年6月に中国のSinosteel社及びBaiyin International Investment社と融資、EPC及びオフテイクの契約に署名。
Wainaleka	Thunderstruck Resources (100)	亜鉛、銅	初期探鉱	Viti Levu 島南部	VMS 鉱床。

(出典)：各社 HP

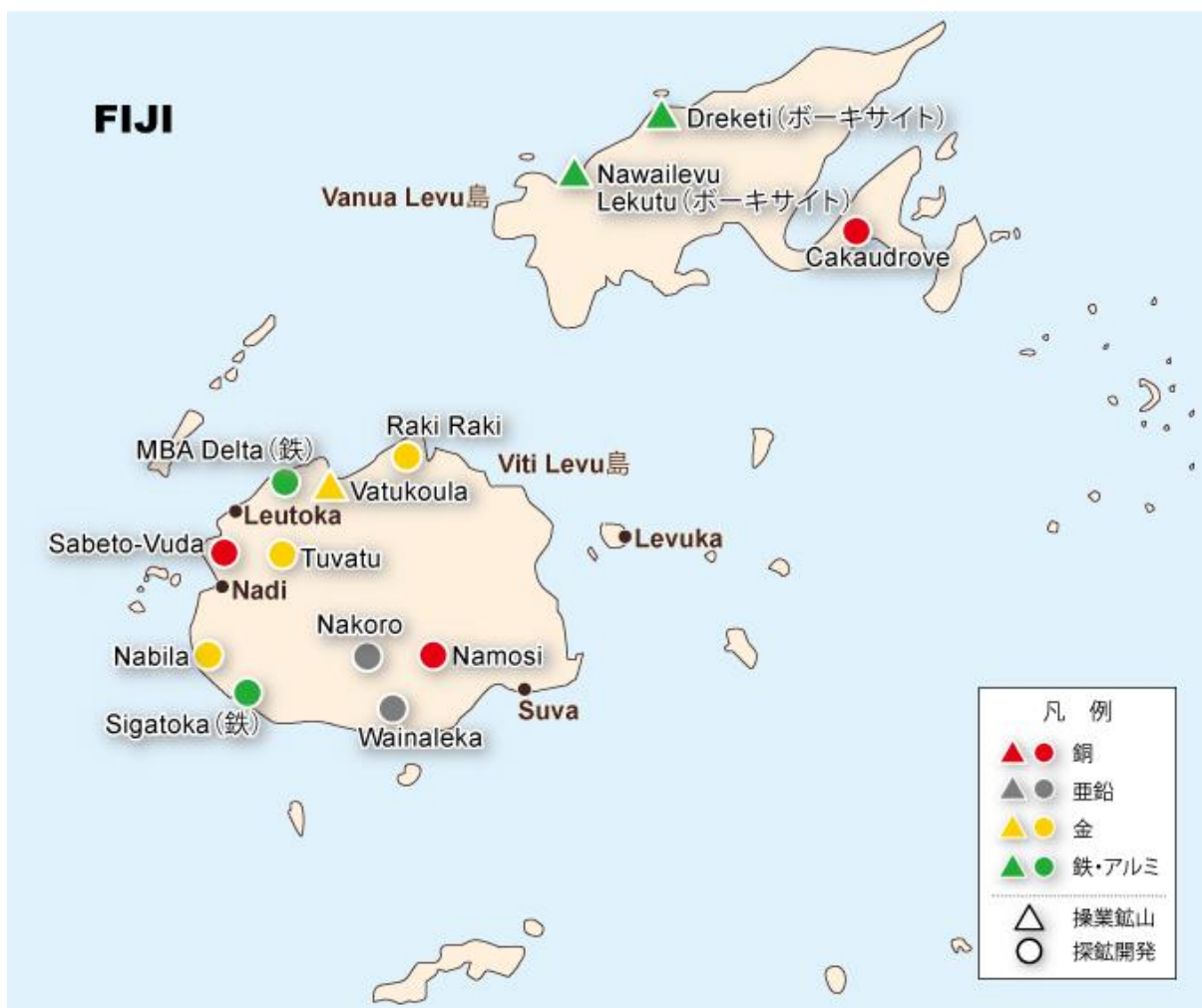


図1. 主要鉱山、探鉱プロジェクト位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

実績なし

(2) 日本企業による投資状況等

Namosi Joint Venture (Namosi, Waivaka Corridor で探査が進行中)

位置 : Viti Levu 島 Namosi (Suva の西北西 34km)

鉱床 : 斑岩型(鉱種 : 銅・金・モリブデン)

権益 : Newcrest Mining (71%)、三菱マテリアル (27%)、日鉄鉱業 (2%)

探査 : 2010 年 Q4 及び 2011 年 Q1 に Waivaka West および Waivaka Corridor にて浅部の高品位部をターゲットに探査を実施。

2011 年: Waivaka Corridor の探査を継続。Waisoi のプレ FS を実施。

2012 年: Waivaka Corridor 及び Waisoi の探査を継続。

フィジー政府は鉱山開発には環境影響評価 (EIA) が必要と判断したため、現在 EIA を実施中。

動向 : Newcrest Mining 社は 2007 年 7 月にオプション探鉱契約を締結し参入。同社は 2009 年 6 月までに 2,150 万 A\$ の探鉱費を支出し 65% の権益を獲得。加えて同社はフィジー政府の承認を得て日鉄鉱業分の 4.94% 権益を追加で取得し、さらに三菱マテリアルの権益希釈により、71% の権益を保有するに至った。

2017 年 2 月、Namosi Joint Venture のプロジェクトマネジャーが、フィジー議会の天然資源常設委員会において、鉱山開発で Namosi 地域が享受する利益について説明を実施したと報じられた。同社が鉱山の操業を開始すれば 736 名のフルタイムの雇用がすぐに生み出され、また、操業開始から 4 年で雇用は 2,000 名のピークに達すること等を説明。

7. その他トピックス

● Resource Group Advisory (Fiji) 社、Mount Kasi において金の探査を予定

2017 年 3 月、Resource Group Advisory (Fiji) 社は、2017 年 4 月までに Mount Kasi 金鉱山において探鉱を開始する予定であると報じられた。同社は Newcrest Exploration Fiji (NEFL) 社から引き継いだ探鉱ライセンスに基づき 3 年間探鉱を実施することとしている。

● ポーキサイト鉱山からの排水で海が変色したと地元住民が主張。鉱山側は否定

2017 年 3 月、Xinfa Aurum Exploration Fiji 社の Dreketi 地区の Naibulu ポーキサイト鉱山から前週の激しい降雨により排水が海に流れ込んで海が赤く変色したと地元住民が主張していると報じられた。住民は同鉱山の沈殿池の水が溢れて海に流れ込んだと主張するが Xinfa 社は否定。

● AMEX Resources 社、河口の砂州において砂鉄の探鉱を予定

2017 年 5 月、AMEX Resources 社はフィジーの Raviravi 地区と Vatutavui 地区の間にある Ba 川の河口の砂州において砂鉄の探査を実施する予定であると報じられた。(同社は 2017 年 5 月に Waratah International (Asia) 社に買収された)

(2018. 9. 30 シドニー事務所 山下 宜範)